令和３年度
第2回 小川町地域公共交通活性化協議会

デマンドタクシー運行事業の調査分析・検証について

令和４年3月

これまでの経緯

デマンドタクシー事業費補助金は
令和元年10月からの消費税の増税と令和２年２月
からのタクシー運賃改定以来、増加傾向

小川町地域公共交通活性化協議会では
運行形態を検証・分析、料金改定等について検討中

本日の協議会では…

① 調査分析・検証の途中経過を報告

② 料金改定の必要性について

令和３年度
第２回 小川町地域公共交通活性化協議会

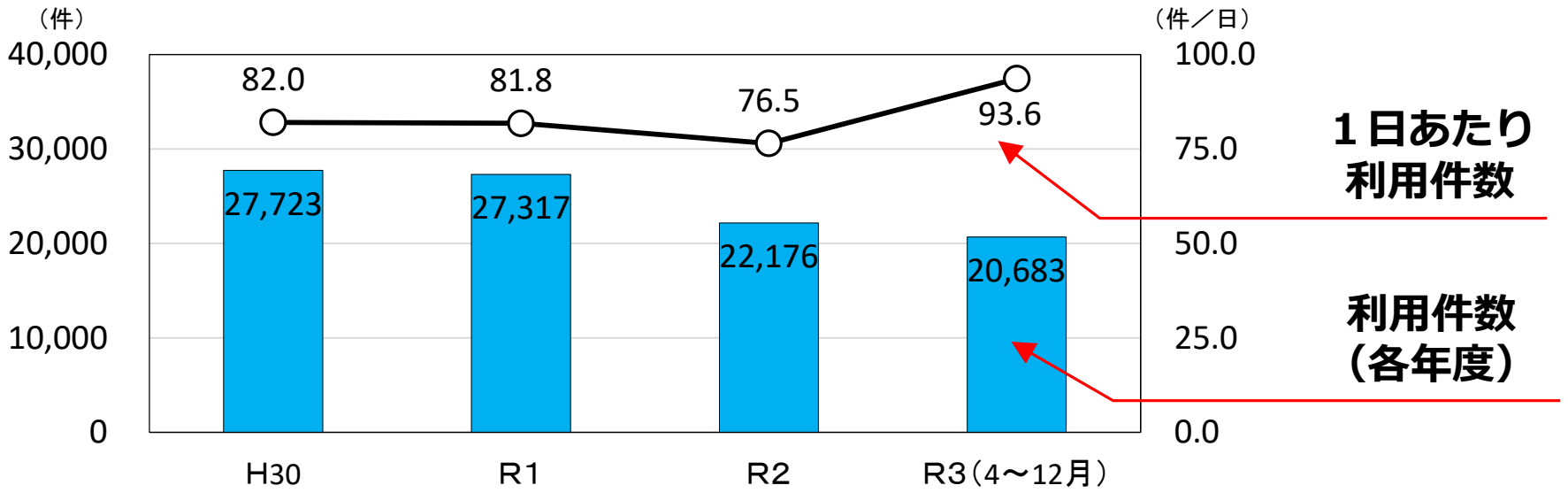
１．デマンドタクシーの状況

① 登録者数、利用件数

- デマンドタクシーの総利用件数は横ばいの状況にある。
- １日あたりの利用者数は増加している。人との接触を避けるため、路線バス等の利用者や相乗り利用者が移行し、利用件数の増につながっていると予測される。※令和2年4月1日から日曜日の運行を休止した。

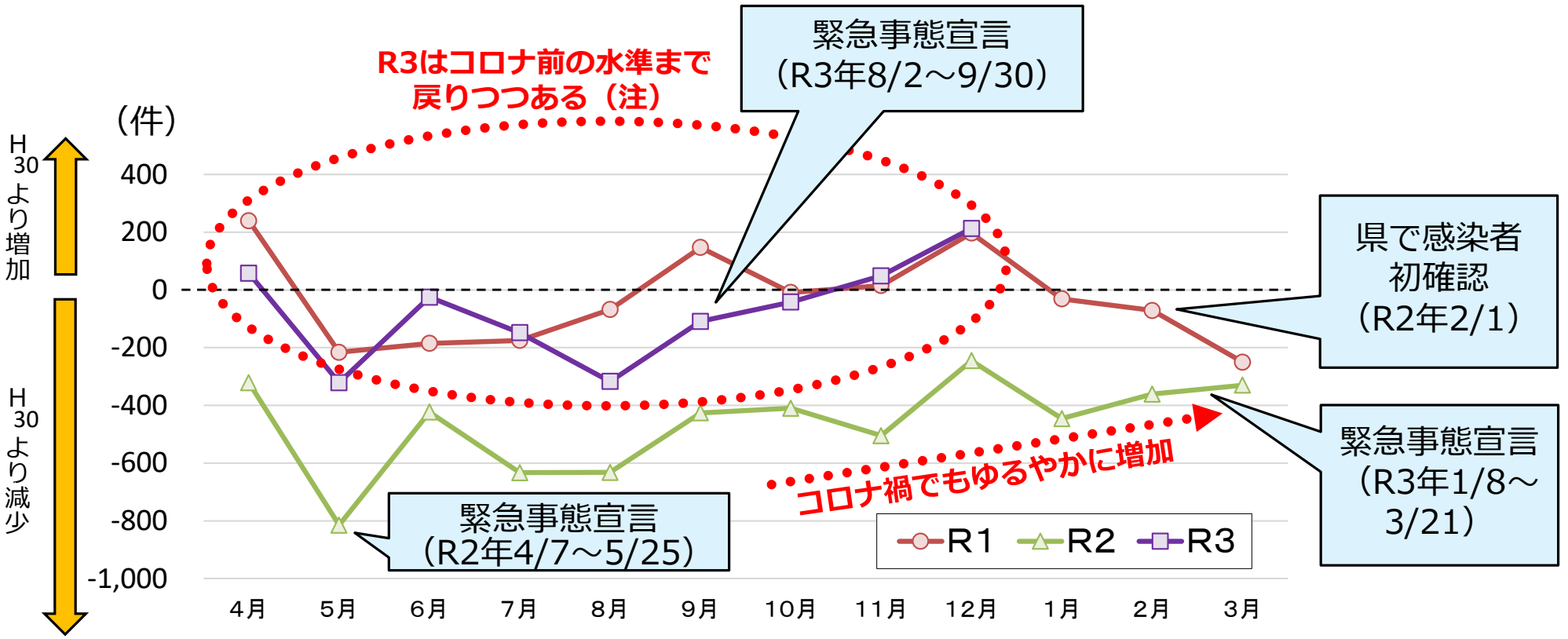
《 登録者数 》R3年度（12月時点）の累計登録者数は5,877人

《 利用件数 》



① 登録者数、利用件数

《 利用件数の増減（H30年度と各年度の比較）》



（注）１日あたりの利用件数を比較すると、R元年度（年間）を、R3年度（4～12月）が上回る。
【R元年度82.0件/日（年間）、R3年度93.6件/日（4～12月）】

② 利用距離帯

- タクシーメーターの中・長距離帯の利用が増加傾向にある。
- タクシー運賃の改定による影響が大きいと予測される。

《 タクシーメーター料金別の利用割合 》

※令和2年2月～タクシー運賃改定（迎車料金含む）

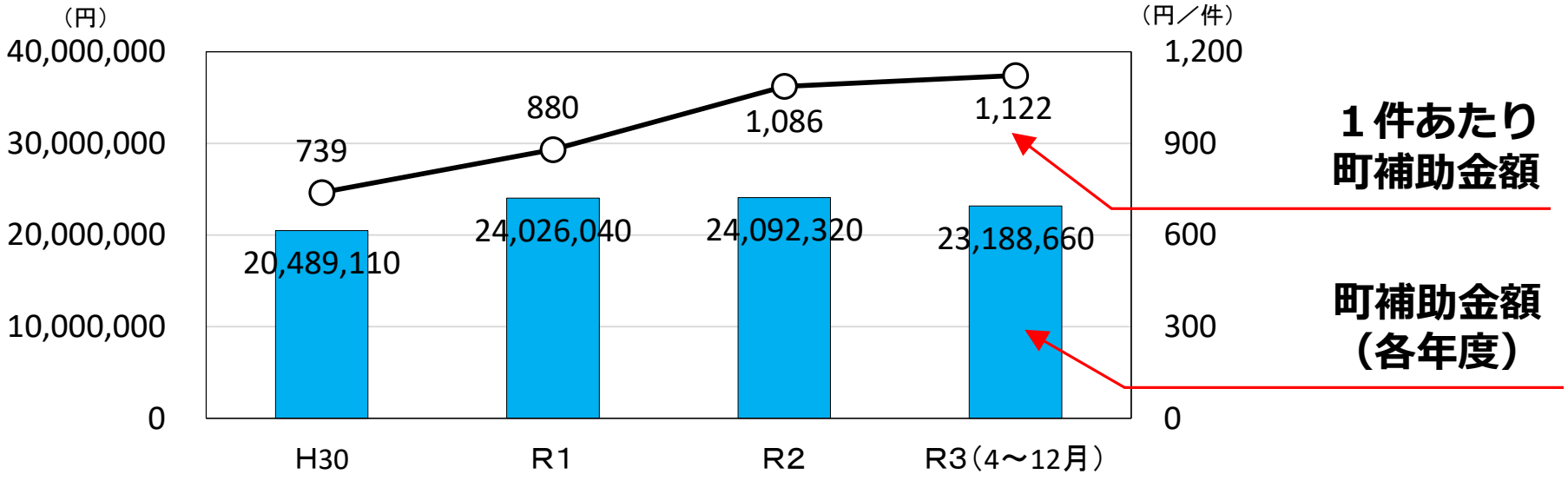
メーター料金	R１	R２	R３
730円以下	14.1%	2.0%	1.4%
731 ～ 999円	17.0%	13.1%	10.4%
1,000 ～ 1,499円	34.0%	34.0%	35.1%
1,500 ～ 1,999円	19.8%	26.0%	26.3%
2,000 ～ 2,499円	9.5%	17.3%	18.4%
2,500 ～ 2,999円	3.2%	4.7%	5.2%
3,000円 ～	2.4%	2.9%	3.2%
合　計	100.0%	100.0%	100.0%
2,000円以上	**15.1%**	24.9%	**26.8%**

令和元年比
約1.8倍

③ 町補助金額

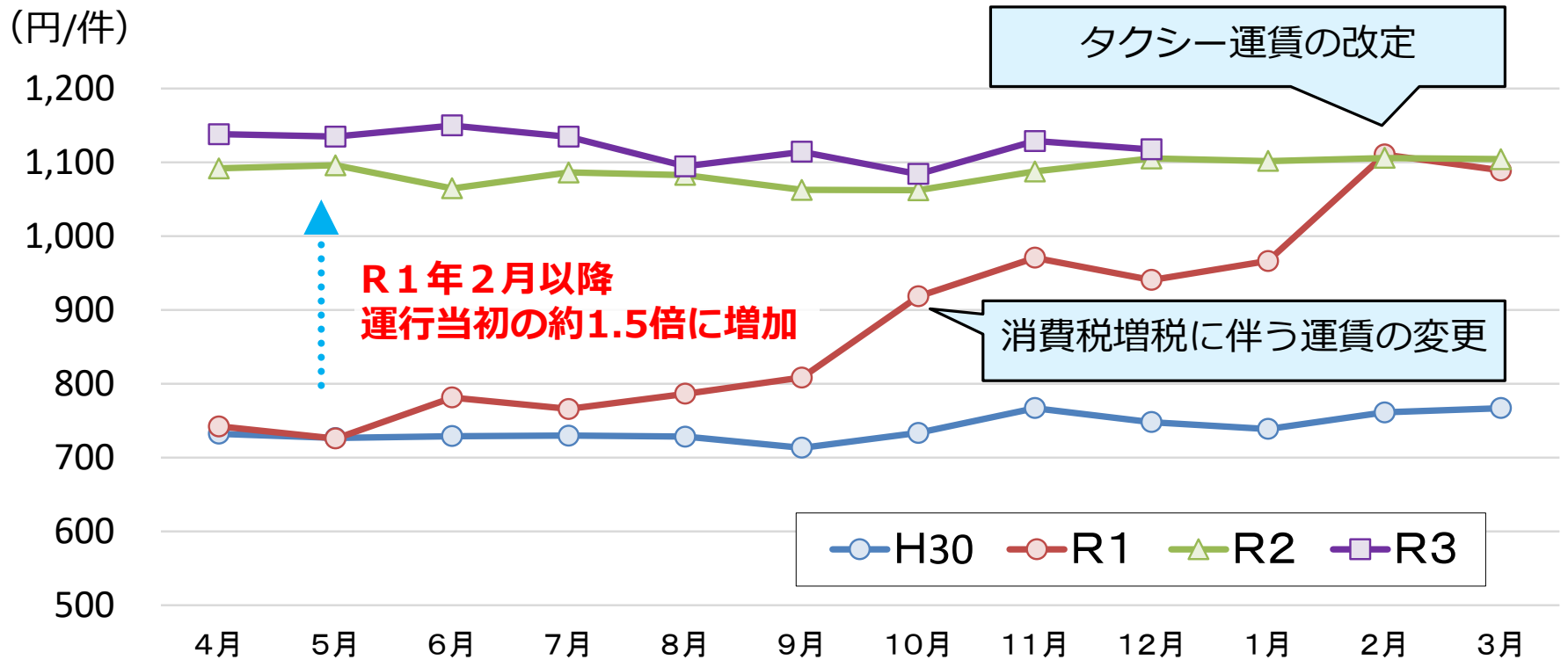
- 町補助金額は増加傾向にある。
- １件あたりの町補助金額の推移を見ると、令和元年10月からの消費税の増税と令和２年２月からのタクシー運賃改定時期に大きく変動している。

《 町補助金額 》



① 登録者数、利用件数

《 １件あたり町補助金額の推移 》



令和３年度
第２回 小川町地域公共交通活性化協議会

２．コロナ禍の変化

① 緊急事態宣言による変化

- 直近（3回目）の緊急事態宣言前後の利用状況を見ると、

医療機関
（病院・診療所・薬局） ⇒ **宣言期間中に減少**

スーパー・コンビニ ⇒ **宣言期間中に増加**

- 一方で、**１回目・２回目・３回目ではそれぞれ異なる動き**をしている。

- **検証、分析のためのデータが不足しているため、引き続き収集が必要**

① 緊急事態宣言による変化

医療機関（病院・診療所・薬局）までの利用割合

赤枠：緊急事態宣言期間

1回目 R2.4.7～5.25	R2.3月	R2.4月	R2.5月	R2.6月	
	44%	41%（↓）	43%（↑）	38%	
2回目 R3.1.8～3.21	R2.12月	R3.1月	R3.2月	R3.3月	R3.4月
	38%	37%（↓）	39%（↑）	42%（↑）	39%
3回目 R3.8.2～9.30	R3.7月	R3.8月	R3.9月	R3.10月	
	41%	37%（↓）	36%（↓）	40%	

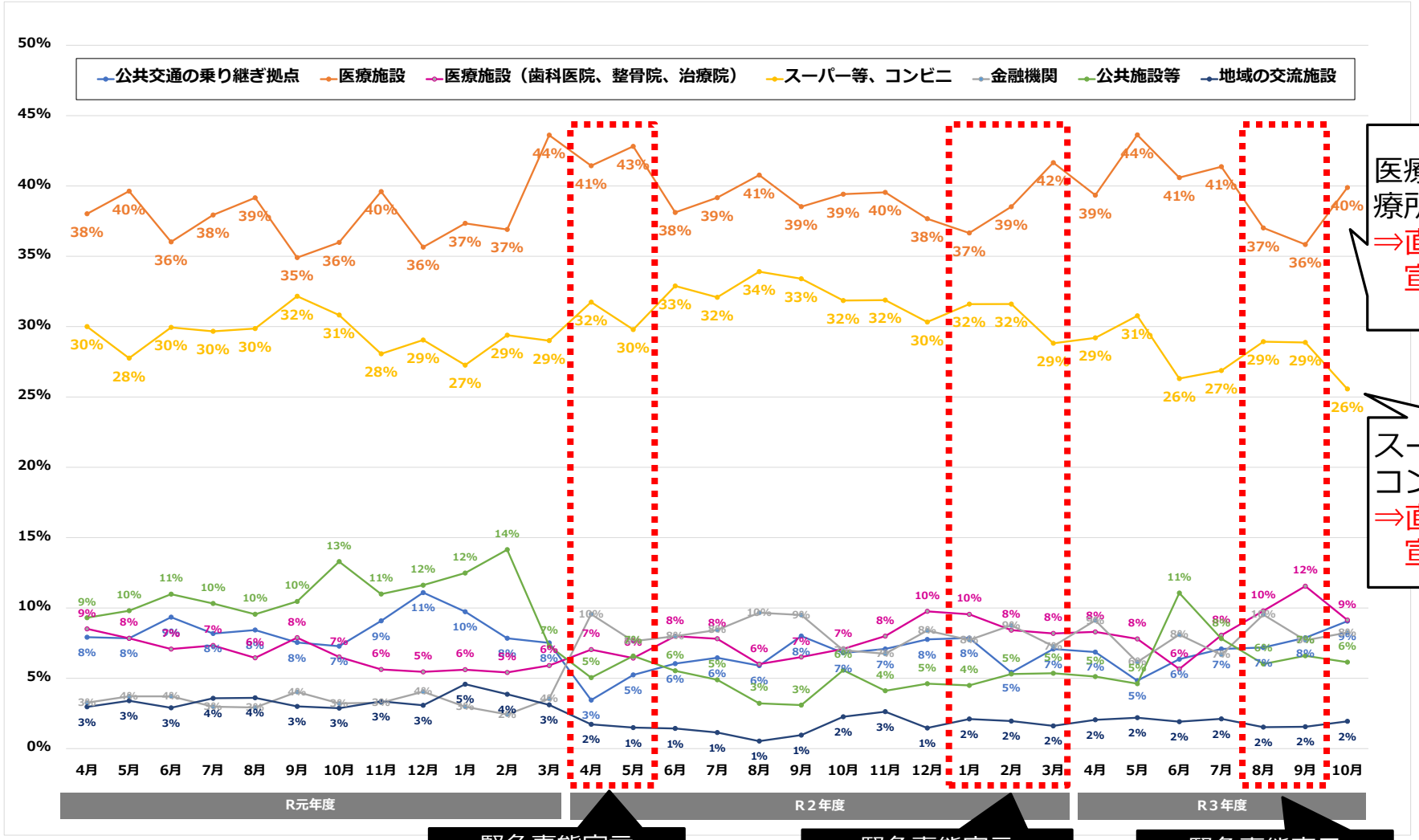
スーパー・コンビニまでの利用割合

赤枠：緊急事態宣言期間

1回目 R2.4.7～5.25	R2.3月	R2.4月	R2.5月	R2.6月	
	29%	32%（↑）	30%（↓）	33%	
2回目 R3.1.8～3.21	R2.12月	R3.1月	R3.2月	R3.3月	R3.4月
	30%	32%（↑）	32%（→）	29%（↓）	29%
3回目 R3.8.2～9.30	R3.7月	R3.8月	R3.9月	R3.10月	
	27%	29%（↑）	29%（→）	26%	

① 緊急事態宣言による変化

《 目的地の推移（R１～３年度）》



医療（病院・診療所・薬局）
⇒直近では
宣言中に減少

スーパー、
コンビニ
⇒直近では
宣言中に増加

緊急事態宣言
（R2年4/7～5/25）

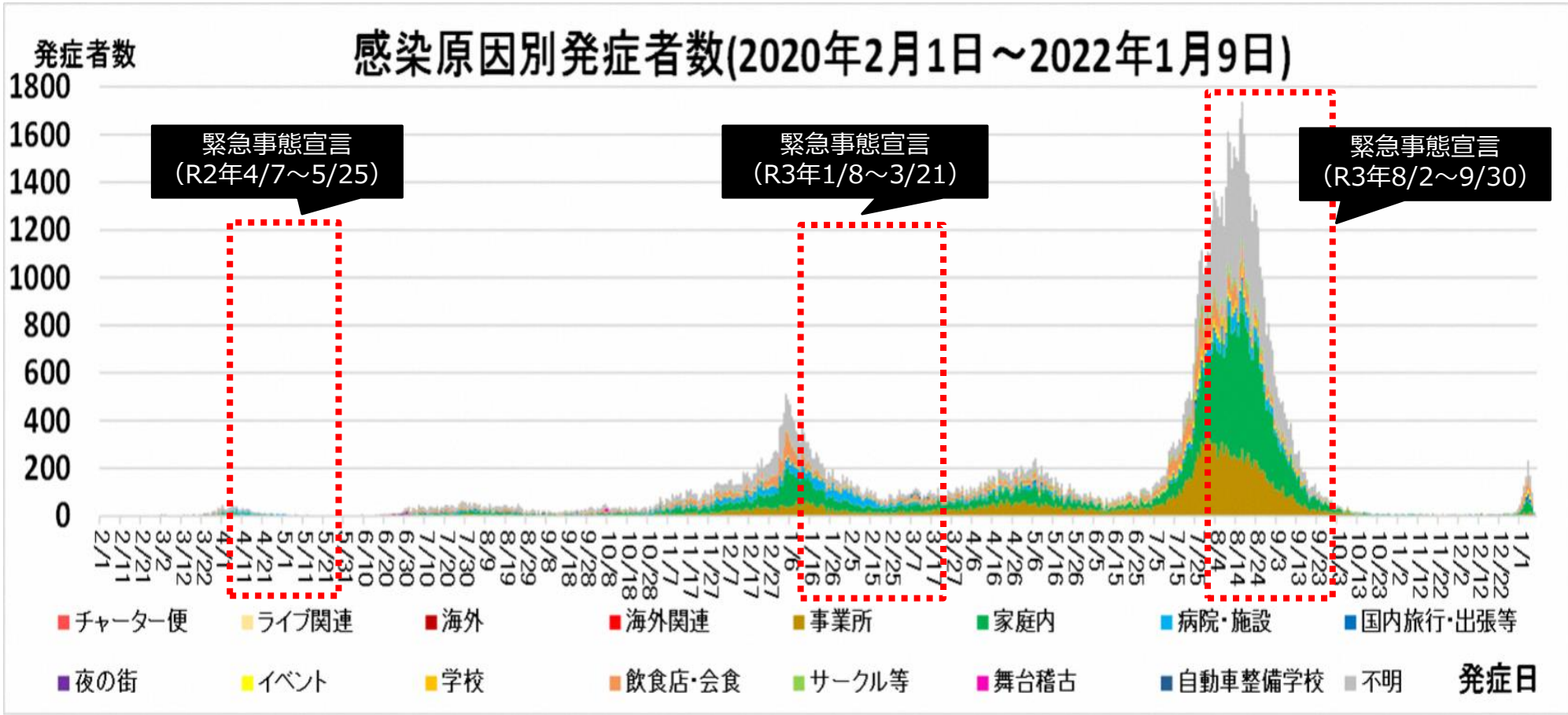
緊急事態宣言
（R3年1/8～3/21）

緊急事態宣言
（R3年8/2～9/30）

① 緊急事態宣言による変化

《 参考：埼玉県内の感染者数の推移 》

出典　埼玉県ホームページより



② ワクチン接種による変化

- ワクチン接種時期は、集団接種会場のパトリアおがわまでの利用件数が増加した。

《 パトリアおがわまでの利用者数　前年との比較 》

R2年6月～10月	R3年6月～10月 （ワクチン接種実施期間）
17 件	186 件

前年比
約10.9倍

③ 社会情勢（企業利用）による変化

- 新型コロナ拡大の影響や、新駅の「みなみ寄居駅」開設により、ホンダ関係等の一般タクシー利用が減少

- ホンダ関係の対応タクシー車両が「２～３台⇒0～１台程度」になったことで、デマンドタクシーの稼働台数が増加

  ⇒ 稼働率が上昇し、利用件数増加の一因になっていると予測される

※タクシー事業者からの聞き取りによる

令和３年度
第２回 小川町地域公共交通活性化協議会

３．料金改定の必要性について

① デマンドタクシーの状況（まとめ）

利用状況

デマンドタクシー事業費補助金は、令和元年10月からの消費税の増税と令和２年２月からのタクシー運賃改定以来、増加傾向
（当初見込みの上限を上回っている）

コロナ禍の影響

コロナ禍で一時利用件数が減少し
Ｒ２年度は横ばいで推移

直近の状況

Ｒ３年度はコロナ前の水準まで利用が戻りつつあり、補助金額が増加に転じる見込み
一方で、まだ状況が読めない部分もある

引き続きデータ収集・分析が必要

② 今後の検討予定

年・月	取組の方向性
令和３年度中 （令和４年３月）	● 引き続きデータを収集 ⌄ ● データ分析を実施
令和４年６月頃	⌄ ● 料金改定の必要性について検討を開始